

糸魚川市都市計画マスタープラン(案)

地域別構想編

1-1 地区区分の考え方

地域別構想の検討にあたり、これまでの旧市町村やコミュニティ形成の状況を踏まえ、前都市計画マスタープラン策定後のまちづくりの整合性を図りつつ、以下に示すように都市計画区域を14地区に区分しました。

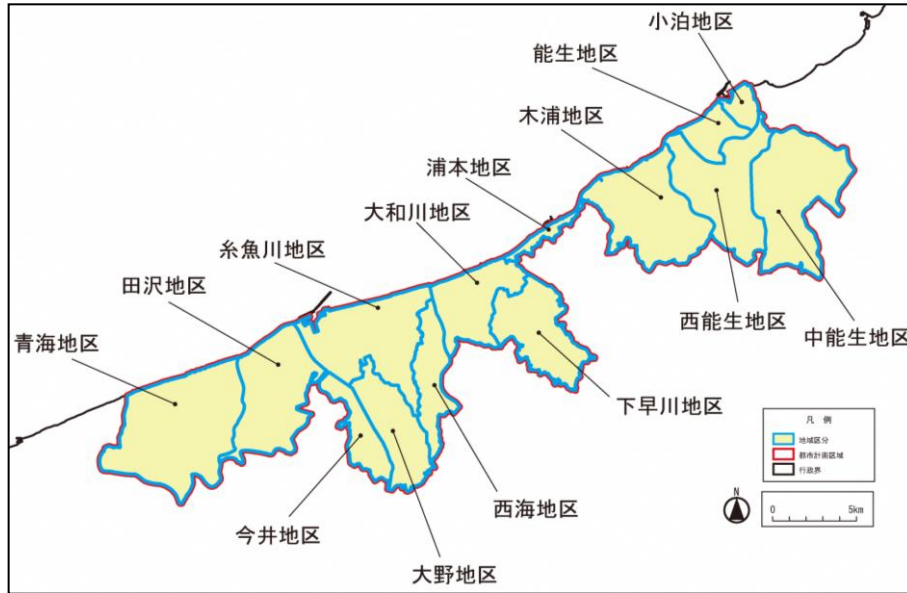


図 地区区分図

【変更点】

- ◆地域の実情を踏まえ、青海地区を青海地区と田沢地区に分割、能生・小泊地区を能生地区と小泊地区に分割、能生谷中部地区を西能生地区と中能生地区に分割し、11地区から14地区に変更。

表 地区区分

地域名	該当集落名	地区区分名
能生地域	西浜町、能生栄町、能生新町、能生中央、笹良町、学校町、旭本町、旭町、緑ヶ丘、桜木、駅南、仲町、西小町、東小町	能生地区
	小泊	小泊地区
	大平寺、寺山、旭新町、桂、鶉石、下小見、大王、サンコーポラス能生	西能生地区
	上小見、平、島道、能生大沢、中野口、柱道、大鷲 浜木浦、新戸、中尾、鬼舞、鬼伏	中能生地区 木浦地区
糸魚川地域	間脇、中浜、中宿	浦本地区
	東海、田屋、育郷、清水山、田中、赤沢、新町、新道、日光寺、滝川原、出	下早川地区
	梶屋敷、田伏、大和川、竹ヶ花、厚田、坂井	大和川地区
	平牛、羽生、北山、水保、成沢、稲坂、真光寺、井沢、田中、川島、中条、道平、釜沢、真木、粟倉、来海沢、市野々、御前山	西海地区
	押上、寺町、大町、緑町、中央、新七、横町、寺島、新鉄、上刈、清崎、一の宮、蓮台寺、京ヶ峰	糸魚川地区
	大野	大野地区
	八千川、西中、中谷内、大谷内、西川原	今井地区
	須沢、今村新田、八久保、田海、高畑	田沢地区
寺地、名引、東町、西町、青海中央、青海大沢	青海地区	

地区区分名	能生地区		
<p>地区の特性</p>	<p>能生地区は、旧能生町における中心市街地であり、能生事務所、能生小学校、能生中学校、県立海洋高等学校、能生体育館、能生歴史民俗資料館などの多くの公共施設が立地するとともに、商業・業務機能が集積しています。また、日本海ひすいライン能生駅が位置しています。</p> <p>このほか、能生海水浴場や弁天岩などの海辺の良好な環境・景観が見られます。</p> <p>しかしながら、近年においては人口減少、少子高齢化の進行、商業・業務機能の衰退が顕在化し、かつての賑わいが見られなくなっています。</p>	<p>まちづくりのテーマ・目標</p>	<p>現行計画：便利で住みやすい活気のあるまち ⇒ 見直し案：能生地域の賑わいの拠点となるまちづくり</p> <p>⇒地域づくりビジョンの内容を参考に能生地域の中心としてのテーマに表現を見直し。 ⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
<p>地区の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●能生地域の中心としての市民生活に必要な都市機能の維持 ●能生地域の拠点として、定住・移住を促す良好な居住環境の形成 ●能生駅北側における低未利用地の有効活用 ●空き家等の活用など、居住誘導に向けた取り組みの推進 ●空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ●人口減少や少子高齢社会の進行に対応した地域コミュニティの維持 ●地区内路線（能生線東廻り・能生線西廻り・島道線・楨線・能生青海線）の運行の効率化 ●鉄道（能生駅）とバス路線（能生青海線）の競合解消 ●海岸の環境保全及び波浪対策の強化 ◎弁天岩ジオサイトの保全・活用 ◎能生海水浴場や弁天岩をはじめとする海岸の良好な環境・景観づくり ◎地区の伝統行事・文化の活性化 ●木造建築物が密集する地域における防火防災対策の推進 ●能生川の水害などの自然災害対策の推進 	<p>まちづくりの構想・方針</p>	<p>⇒地区分離に伴い、能生地区に関連する内容を移行。 ⇒その他、以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 →課題を踏まえ、現行計画に「能生駅北側における低未利用地の面的整備等検討」を追記。 →課題を踏まえ、「空き家等の有効活用などの推進」「地区内路線バスの運行の効率化」「鉄道とバスの競合区間での役割分担の明確化」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：高齢者に配慮した居住環境の形成。</p> <p>②生活利便性の高い生活拠点（市街地）の形成 →全体構想の見直し及び課題を踏まえ、現行計画に「国道8号以南の商業地での生活商業拠点の位置づけ」を追記。</p> <p>③本市の発展を支える生産・開発拠点の形成 ※現行計画を踏襲：地区西側の工業系土地利用における地域産業の拠点維持。</p> <p>④人々が交流できる空間の形成 →全体構想の見直しを踏まえ、現行計画に「川辺の軸となる能生川沿いの河川空間の保全及び利活用」を追記。 →糸魚川市海の魅力アップ推進計画を踏まえ、現行計画に「能生海岸周辺での観光振興等のための施設整備」を追記。</p> <p>⑤安全に安心して暮らせる地区の形成 →課題を踏まえ、「津波などによる被害を防止・軽減するための対策強化」「木造建築物が密集する地域での防火・防災対策の推進」「能生川の水害対策」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：避難路の沿道における安全性の確保、避難場所における防災機能の充実。</p> <p>⑥誇りを持てる街並みの形成 →課題を踏まえ、「弁天岩ジオサイトの保全・活用」「地区の伝統行事・文化の活性化」を新たに記載。</p>

主として都市計画に係る課題 … 【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
 ※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
 ※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	小泊地区		
<p>地区の特性</p>	<p>小泊地区は、能生漁港に面する集落と緑豊かな山々に囲まれた地区であり、道の駅能生などの公共公益施設が立地しています。 また、市民の憩いやレクリエーションの拠点となる能生海洋公園があります。 このほか、弁天岩やトットコ岩などの海辺の良好な環境・景観が見られます。 しかしながら、近年においては、人口減少、少子高齢化が進行しており、地域コミュニティの衰退が懸念されています。</p>	<p>まちづくりのテーマ・目標</p>	<p>現行計画：便利で住みやすい活気のあるまち ⇒ 見直し案：海辺の自然・交流拠点を活かしたまちづくり</p> <p>⇒地域づくりビジョンの内容を参考に能生海洋公園を核とした海辺の交流拠点という内容にテーマに表現を見直し。 ⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
<p>地区の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 住み慣れた集落地における居住環境の維持と生活拠点の形成 ● 空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ● 人口減少や少子高齢社会の進行に対応した地域コミュニティの維持 ◎ 地区の産業拠点となる漁港環境の整備 ● 能生海洋公園の適切な維持管理 ● 海岸の環境保全及び波浪対策の強化 ◎ 弁天岩ジオサイトの保全・活用 ◎ 弁天岩・能生漁港など海岸の良好な環境・景観づくり ● 木造建築物の密集・狭隘道路による消防活動の困難な地域などにおける防火防災対策の推進 ● 土砂災害などの自然災害対策の推進 	<p>まちづくりの構想・方針</p>	<p>⇒地区分離に伴い、小泊地区に関連する内容を移行。 ⇒その他、以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 →課題を踏まえ、「小泊地区公民館周辺での生活関連施設の充実による生活利便性の向上、地域コミュニティの維持」「空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：国道8号の通過交通の影響を軽減した良好な居住環境の形成。</p> <p>②人々が交流できる空間の形成 →課題を踏まえ、「海辺の軸の拠点となる能生海洋公園の適切な維持管理」を新たに記載。 →糸魚川市海の魅力アップ推進計画を踏まえ、現行計画に「道の駅能生などでの観光振興等のための施設整備」を追記。</p> <p>③安全に安心して暮らせる地区の形成 →課題を踏まえ、「津波などによる被害を防止・軽減するための対策強化」「狭隘な道路が多い当該地区の実情を踏まえた防火・防災対策の推進」「土砂災害対策」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：避難場所における防災機能の充実。</p> <p>④誇りを持てる集落の形成 →課題を踏まえ、「地区の産業拠点となる漁港環境の整備」「弁天岩ジオサイトの保全・活用」「海岸沿いの良好な自然景観や能生漁港などと調和した良好な集落景観の保全」を新たに記載。</p>

主として都市計画に係る課題 …【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	西能生地区		
地区の特性	<p>西能生地区は、能生川沿いに点在する中小集落と優良農地によって構成される、緑豊かな山々に囲まれた地区で、能生球場などの公共公益施設が立地しています。地区全体では人口減少、少子高齢化が進行しています。</p>	まちづくりのテーマ・目標	<p>現行計画：水と緑に彩られた癒しのまち ⇒ 見直し案：農業などの産業が盛んな住みよいまちづくり</p> <p>⇒地域づくりビジョンの内容を参考に農業環境を中心としたテーマに表現を見直し。 ⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
地区の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 住み慣れた集落地における居住環境の維持と生活拠点の形成 ● 空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ● 人口減少や少子高齢社会の進行に対応した地域コミュニティの維持 ● 能生川両岸（4流域2ルートの一区間）の道路整備 ● 除雪が困難となる狭隘道路の改善 ● 地区内路線（能生線東廻り・能生線西廻り・島道線・楨線）の運行の効率化 ◎ 優良農地と集落風景、緑豊かな山林の保全 ◎ 地区の伝統行事・文化の活性化 ● 能生川の水害や土砂災害などの自然災害対策の推進 	まちづくりの構想・方針	<p>⇒地区分離に伴い、西能生地区に関連する内容を移行。 ⇒その他、以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 →課題を踏まえ、「西能生地区公民館周辺での生活関連施設の充実による生活利便性の向上、地域コミュニティの維持」「空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消」「能生川兩岸の道路の整備、除雪の困難な狭隘道路の改善」「地区内路線バスの運行の効率化」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：生活拠点（西能生地区公民館周辺）以外の集落における居住環境の維持。</p> <p>②人々が交流できる空間の形成 →全体構想の見直しを踏まえ、現行計画に「川辺の軸となる能生川沿いの河川空間の保全及び利活用」を追記。</p> <p>③安全に安心して暮らせる地区の形成 →課題を踏まえ、「能生川の水害対策や土砂災害対策」を新たに記載。 →全体構想の見直しを踏まえ、「避難路の沿道における安全性の確保」「避難場所における防災機能の充実」を新たに記載。</p> <p>④誇りを持てる集落の形成 →課題を踏まえ、「地区の伝統行事・文化の活性化」を新たに記載。</p>

主として都市計画に係る課題 …【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	中能生地区		
地区の 特性	<p>中能生地区は、能生川沿いに点在する中小集落と優良農地によって構成される、緑豊かな山々に囲まれた地区であり、中能生小学校などの公共公益施設が立地しています。</p> <p>しかしながら、近年においては、人口減少、少子高齢化が進行しており、地域コミュニティの衰退が懸念されています。</p>	まちづくりの テーマ・目標	<p>現行計画：水と緑に彩られた癒しのまち ⇒ 見直し案：緑豊かな自然・観光地を活かしたまちづくり</p> <p>⇒地域づくりビジョンの内容を参考に自然環境を中心としたテーマに表現を見直し。 ⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
地区の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 住み慣れた集落地における居住環境の維持と生活拠点の形成 ● 空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ● 人口減少や少子高齢社会の進行に対応した地域コミュニティの維持 ● 能生川両岸（4流域2ルートの一区間）の道路整備 ● 地区内路線（能生線東廻り・能生線西廻り・島道線・楨線）の運行の効率化 ◎ 優良農地と集落風景、緑豊かな山林の保全 ◎ 神道山ジオサイトの保全・活用 ● 能生川の水害や土砂災害などの自然災害対策の推進 	まちづくりの 構想・方針	<p>⇒地区分離に伴い、中能生地区に関連する内容を移行。 ⇒その他、以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 →課題を踏まえ、「中能生地区公民館周辺での生活関連施設の充実による生活利便性の向上、地域コミュニティの維持」「空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消」「能生川両岸の道路の整備」「地区内路線バスの運行の効率化」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：生活拠点（中能生地区公民館周辺）以外の集落における居住環境の維持。</p> <p>②人々が交流できる空間の形成 →全体構想の見直しを踏まえ、現行計画に「川辺の軸となる能生川沿いの河川空間の保全及び利活用」を追記。</p> <p>③安全に安心して暮らせる地区の形成 →課題を踏まえ、「能生川の水害対策や土砂災害対策」を新たに記載。 →全体構想の見直しを踏まえ、「避難路の沿道における安全性の確保」「避難場所における防災機能の充実」を新たに記載。</p> <p>④誇りを持てる集落の形成 →課題を踏まえ、「神道山ジオサイトの保全・活用」を新たに記載。</p>

主として都市計画に係る課題 …【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
 ※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
 ※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	木浦地区		
地区の特性	<p>木浦地区は、一般国道8号に沿って海岸に点在する集落と木浦川に沿って広がる優良農地の中に点在する集落から構成されています。</p> <p>木浦小学校などの公共公益施設が立地するとともに、海岸部にあっては鬼舞漁港などで海水浴や釣りを目的とする広域からの来訪者が見られません。</p> <p>一方、山間部にあっては、優良農地の中に中小集落が点在する構造であり、人口減少、少子高齢化が進行している中で、地域コミュニティの衰退が懸念されています。</p>	まちづくりのテーマ・目標	<p>現行計画：海と山が織りなす交流のまち ⇒ 見直し案：海と山の豊かな自然を活かした住みよいまちづくり</p> <p>⇒地域づくりビジョンの内容を参考に海と山に囲まれた地域特性をテーマとして表現を見直し。 ⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
地区の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 住み慣れた集落地における居住環境の維持と生活拠点の形成 ● 空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き等の解消 ● 人口減少や少子高齢社会の進行に対応した地域コミュニティの維持 ● 能生地域の中心となる能生地区や隣接地区との連携強化 ● 地区内路線（中尾長者温泉線）の運行の効率化 ● 公共的交通（中学校スクールバス・ふれあい送迎）から路線バスへの転換 ◎ 優良農地と集落風景、緑豊かな山林の保全 ● 海岸の環境保全及び波浪対策の強化 ● 木浦川の水害や土砂災害などの自然災害対策の推進 	まちづくりの構想・方針	<p>⇒以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 →課題を踏まえ、現行計画に「木浦地区公民館周辺での生活関連施設の充実による生活利便性の向上、地域コミュニティの維持」を追記。 →課題を踏まえ、「空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消」「能生地区や隣接地区との連携強化」「地区内路線バスの運行の効率化」「中学校スクールバス等から路線バスへの転換の検討」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：生活拠点（木浦地区公民館周辺）以外の集落における居住環境の維持。</p> <p>②人々が交流できる空間の形成 →糸魚川市海の魅力アップ推進計画を踏まえ、現行計画に「能生海岸周辺での観光振興等のための施設整備」を追記。</p> <p>③安全に安心して暮らせる地区の形成 →課題を踏まえ、「津波などによる被害を防止・軽減するための対策強化」「木浦川の水害対策や土砂災害対策」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：避難路の沿道における安全性の確保、避難場所における防災機能の充実。</p> <p>④誇りを持てる集落の形成 →課題を踏まえ、「自然景観と調和した良好な集落景観の保全」を新たに記載。</p>

主として都市計画に係る課題 … 【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
 ※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
 ※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	浦本地区		
地区の 特性	<p>浦本地区は、海と山に挟まれた地形であり、集落は日本海ひすいライン北側の平地にわずかに広がっています。</p> <p>浦本地区公民館などの公共施設が立地するとともに、日本海ひすいライン浦本駅が位置し、かつては、浦本漁港を中心に賑わいを呈していましたが、人口減少や漁業の後継者不足などによって衰退しつつあることから、かつての賑わいが見られなくなってきました。</p>	まちづくりの テーマ・目標	<p>現行計画：大海とともにはぐくむ元気なまち ⇒ 見直し案：海辺の自然と調和した漁村などの伝統・文化を伝えるまちづくり</p> <p>⇒地域づくりビジョンの内容を参考に海辺と漁村を有する地域特性をテーマとして表現を見直し。 ⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
地区の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 住み慣れた集落地における居住環境の維持と生活拠点の形成 ● 空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ● 耕作放棄地の利活用 ● 人口減少や少子高齢社会の進行に対応した地域コミュニティの維持 ◎ 地区の産業拠点となる漁港環境の整備 ● 東バイパス（一般国道8号系魚川東バイパス）の整備促進 ● 地区内生活道路の改良 ● 狭隘な土地に集中する交通を踏まえた交通安全性の確保 ● 地区内路線（能生青海線）の運行の効率化 ● 鉄道（浦本駅）とバス路線（能生青海線）の競合解消 ● 海岸の環境保全及び波浪対策の強化 ◎ 地区の伝統行事・文化の活性化 ● 土砂災害などの自然災害対策の推進 ● 安全に安心して暮らせる防災機能などの確保・充実 	まちづくりの 構想・方針	<p>⇒以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 →課題を踏まえ、現行計画に「浦本地区公民館や浦本駅周辺での生活関連施設の充実による生活利便性の向上、地域コミュニティの維持」を追記。 →課題を踏まえ、「空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消」「東バイパスの整備の促進、地区内生活道路の改良、交通安全性の確保」「地区内路線バスの運行の効率化」「鉄道とバスの競合区間での役割分担の明確化」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：漁師町風情の保全、国道8号の通過交通対策による安全安心な居住環境の形成、東バイパスの整備による景観・環境面での影響の抑制。</p> <p>②人々が交流できる空間の形成 →全体構想の見直しを踏まえ、「海辺の軸の拠点となる中宿シーサイドパークの適切な維持管理」を新たに記載。 →糸魚川市海の魅力アップ推進計画を踏まえ、現行計画に「浦本漁港などでの観光振興等のための施設整備」を追記。</p> <p>③安全に安心して暮らせる地区の形成 →課題を踏まえ、「津波などによる被害を防止・軽減するための対策強化」「土砂災害対策」「避難路の沿道における安全性の確保」「避難場所における防災機能の充実」を新たに記載。</p> <p>④誇りを持てる集落の形成 →課題を踏まえ、「耕作放棄地の利活用、地区の産業拠点となる漁港環境の整備」「地区の伝統行事・文化の活性化」を新たに記載。</p>

主として都市計画に係る課題 … 【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
 ※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
 ※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	下早川地区		
地区の特性	<p>下早川地区は、緑豊かな山々に囲まれた中に早川の清流が流れる広大な優良農地を擁する地区であり、下早川小学校、早川交流促進センターなどの公共公益施設が立地しています。</p> <p>集落は、主に早川左岸に点在しており、のどかな田園風景を醸し出していますが、人口減少、少子高齢化の進行などによる過疎化が顕著になっています。</p> <p>新町集落では、割烹や商店が建ち並び賑わっていましたが、後継者不足や自動車社会の到来により衰退しつつあり、かつてのにぎわいが見られなくなってきています。</p>	まちづくりのテーマ・目標	<p>現行計画：ゆっくりと時間が流れる助け合いのまち ⇒ 見直し案：早川などの自然・観光地を活かしたまちづくり</p> <p>⇒地域づくりビジョンの内容を参考に早川などの地域特性をテーマとして表現を見直し。</p> <p>⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
地区の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 住み慣れた集落地における居住環境の維持と生活拠点の形成 ● 空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ● 耕作放棄地の利活用 ● 人口減少や少子高齢社会の進行に対応した地域コミュニティの維持 ● 鉄道駅（梶屋敷駅）での接続に配慮したダイヤの編成 ◎ 優良農地と集落風景、緑豊かな山林の保全 ◎ 月不見の池ジオサイトの保全・活用 ◎ 地区の伝統行事・文化の活性化 ● 新町・新道集落の木造建築物密集地域における防火・防災対策の推進 ● 早川の水害や土砂災害などの自然災害対策の推進 	まちづくりの構想・方針	<p>⇒以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 →課題を踏まえ、現行計画に「藤のさとセンターから下早川小学校周辺での生活関連施設の充実による生活利便性の向上、地域コミュニティの維持」を追記。 →課題を踏まえ、「空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消」「梶屋敷駅での接続に配慮したダイヤ編成」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：生活拠点（藤のさとセンターから下早川小学校周辺）以外の集落における居住環境の維持。</p> <p>②人々が交流できる空間の形成 →全体構想の見直しを踏まえ、現行計画に「川辺の軸となる早川沿いの河川空間の保全及び利活用」を追記。</p> <p>③安全に安心して暮らせる地区の形成 →課題を踏まえ、「木造建築物が密集する地域での防火・防災対策の推進」「早川の水害対策や土砂災害対策」を新たに記載。 →全体構想の見直しを踏まえ、「避難路の沿道における安全性の確保」「避難場所における防災機能の充実」を新たに記載。</p> <p>④誇りを持てる集落の形成 →課題を踏まえ、「耕作放棄地の利活用」「月不見の池ジオサイトの保全・活用」「地区の伝統行事・文化の活性化」を新たに記載。</p>

主として都市計画に係る課題 …【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	大和川地区		
<p>地区の特性</p>	<p>大和川地区は、日本海、海川、早川に囲まれ、後背地には緑豊かな丘陵地を持つ、糸魚川地区の東側に隣接した地区であり、大和川小学校、糸魚川東中学校、糸魚川総合病院、多目的交流センター（アクアホール）などの公共公益施設が立地するとともに、日本海ひすいライン梶屋敷駅が位置しています。</p> <p>市街地は、日本海ひすいライン北側にあり、海岸沿いに残る船小屋がかつての漁師町の風情を感じさせる一方、南側の丘陵地には田園・集落が広がっており、のどかな風景を醸し出しています。</p> <p>このほか、レクリエーション拠点として大和川海水浴場があります。</p> <p>梶屋敷駅周辺は、商業施設が建ち並び、かつては賑わいの中心でしたが、後継者不足や一般国道8号への沿道サービス施設等の立地により、かつての拠点性が失われつつあります。</p>	<p>まちづくりのテーマ・目標</p>	<p>現行計画：ふるさと感じる心温まるまち ⇒ 見直し案：交通の利便性を活かした暮らしやすいまちづくり</p> <p>⇒地域づくりビジョンの内容を参考に道路や病院等の都市基盤整備が進んでいる地区という内容にテーマに表現を見直し。 ⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
<p>地区の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本海ひすいライン南側における市街化による用途混在の防止 ● 住み慣れた集落地における居住環境の維持と生活拠点の形成 ● 東バイパス整備後の開発圧力の高まりに備えた規制・誘導策の検討 ● 空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ● 耕作放棄地の利活用 ● 少子高齢社会の進行などに対応した地域コミュニティの維持 ● 地区内路線（早川線・能生青海線）の競合解消 ● 鉄道（梶屋敷駅）とバス路線（早川線・能生青海線）の競合解消 ◎ 優良農地と集落風景、緑豊かな山林の保全 ◎ 糸魚川海岸ジオサイトの保全・活用 ● 木造建築物密集地域における防火・防災対策の推進 ● 早川、前川や海川の水害及び波浪などの自然災害対策の推進 	<p>まちづくりの構想・方針</p>	<p>⇒以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成</p> <p>→課題を踏まえ、現行計画に「市街地化による用途の混在等の抑制」「大和川地区公民館や梶屋敷駅周辺での生活関連施設の充実による生活利便性の向上、地域コミュニティの維持」を追記。</p> <p>→課題を踏まえ、「東バイパス整備後の開発圧力の高まりに備えた規制・誘導策の検討」「空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消」「地区内のバス路線の競合解消」「鉄道とバスの競合区間での役割分担の明確化」を新たに記載。</p> <p>→全体構想の見直しを踏まえ、現行計画に「浦本地区の東バイパスの整備後における沿線の居住環境の維持向上」を追記するとともに、「（都）梶屋敷東線の見直し検討」を新たに記載。</p> <p>※現行計画を踏襲：生活拠点（大和川地区公民館周辺）や梶屋敷駅周辺以外の集落における居住環境の維持。</p> <p>②人々が交流できる空間の形成</p> <p>→全体構想の見直しを踏まえ、現行計画に「川辺の軸となる早川や海川沿いの河川空間の保全及び利活用」を追記。</p> <p>→糸魚川市海の魅力アップ推進計画を踏まえ、現行計画に「大和川海岸周辺での観光振興等のための施設整備」を追記。</p> <p>③安全に安心して暮らせる地区の形成</p> <p>→課題を踏まえ、「木造建築物が密集する地域での防火・防災対策の推進」「早川、前川、海川の水害対策」を新たに記載。</p> <p>→全体構想の見直しを踏まえ、「避難路の沿道における安全性の確保」「避難場所における防災機能の充実」を新たに記載。</p> <p>④誇りを持てる集落の形成</p> <p>→課題を踏まえ、「耕作放棄地の利活用」「糸魚川海岸ジオサイトの保全・活用」を新たに記載。</p>

主として都市計画に係る課題 … 【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
 ※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
 ※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	西海地区		
地区の特性	<p>西海地区は、海川沿いの南北方向に広がる地区であり、平牛、羽生、田中、水保などの集落が形成され、西海小学校、県立糸魚川高等学校、西海コミュニティスポーツセンターなどの公共施設が立地しています。</p> <p>糸魚川地区の南側に隣接することから、平牛集落、羽生集落にあっては、宅地造成が行われています。</p>	まちづくりのテーマ・目標	<p>現行計画：そよ風が心地よい水辺のまち ⇒ 見直し案：海川や海谷などの自然と調和した集落の伝統・文化を伝えるまちづくり ⇒地域づくりビジョンの内容を参考に豊かな自然や歴史的資源を有する地域特性をテーマとして表現を見直し。 ⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
地区の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 住み慣れた集落地における居住環境の維持と生活拠点の形成 ● 空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ● 少子高齢社会の進行などに対応した地域コミュニティの維持 ◎ 地区の産業となる林業環境の整備 ◎ 観光資源の活用 ● 公共的交通（中学校スクールバス）から路線バスへの転換 ◎ 優良農地と集落風景、緑豊かな山林の保全 ◎ 地区の伝統・文化の活性化 ● 海川の水害などの自然災害対策の推進 ● 安全に安心して暮らせる防災機能などの確保・充実 	まちづくりの構想・方針	<p>⇒以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 →課題を踏まえ、現行計画に「西海地区公民館、西海コミュニティスポーツセンター周辺等での生活関連施設の充実による生活利便性の向上、地域コミュニティの維持」を追記。 →課題を踏まえ、「空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消」「中学校スクールバスから路線バスへの転換の検討」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：平牛、羽生における優良農地・集落の保全による良好な居住環境の形成。</p> <p>②人々が交流できる空間の形成 →全体構想の見直しを踏まえ、現行計画に「川辺の軸となる海川沿いの河川空間の保全及び利活用」を追記。</p> <p>③安全に安心して暮らせる地区の形成 →課題を踏まえ、「海川の水害対策」「避難路の沿道における安全性の確保」「避難場所における防災機能の充実」を新たに記載。</p> <p>④誇りを持てる集落の形成 →課題を踏まえ、「地区の産業となる林業環境の整備、観光資源の活用」「地区の伝統・文化の活性化」を新たに記載。</p>

主として都市計画に係る課題 …【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	糸魚川地区	
<p>地区の特性</p> <p>糸魚川地区は、明治34年の町制施行以降、100年以上にわたって商業業務機能、居住機能等の中核を形成してきた中心的な地区であり、糸魚川市役所をはじめ数多くの公共施設が立地しています。</p> <p>このほか、市民の憩いやレクリエーションの拠点となる美山公園、市街地に近接した都市緑地である姫川公園や糸魚川海水浴場があります。</p> <p>また、北陸新幹線・JR大糸線・日本海ひすいラインの糸魚川駅や姫川港が位置する交通結節点です。</p> <p>平成28年12月に糸魚川市駅北大火が発生し、中心市街地の約4ヘクタールに延焼する大規模な被害をもたらしており、迅速かつ着実な復興が求められています。</p>	<p>まちづくりのテーマ・目標</p>	<p>現行計画：新しさと懐かしさがとけあい、ふれあうまち ⇒ 見直し案：糸魚川市の顔として魅力あふれるまちづくり</p> <p>⇒地域づくりビジョンの内容を参考に立地適正化計画など都市づくりの核となり、市の顔としての役割をテーマに表現を見直し。 ⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。 ⇒以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p>
<p>地区の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本市の顔となる魅力的な商業・業務機能をはじめとする都市機能の集積 ●糸魚川市の中心としての移住・定住を促す居住誘導 ●低・未利用地の都市的土地利用の推進 ●糸魚川駅周辺における賑わい・交流の創出 ●糸魚川駅南線・中央大通り線の沿道における既存の居住環境の維持・保全 ●寺島、南押上の工業系用途地域における既存の居住環境の維持・保全 ●IC土地区画整理事業地内における用途混在の防止 ●空き家等の活用など、居住誘導に向けた取り組みの推進 ●空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ●少子高齢社会の進行などに対応した地域コミュニティの維持 ●地域高規格道路松本糸魚川連絡道路及び関連する都市計画道路等の整備 ●選択と集中による生活道路の改良・整備 ●押上集落の日本海ひすいラインにおける新駅設置の推進及び周辺整備 ●地区内2路線（蓮台寺線、市街地巡回線）の競合解消 ●鉄道（糸魚川駅）とバス路線（能生青海線）の競合解消 ●美山公園の適切な維持管理の継続、姫川公園の利便性の向上 ◎糸魚川海岸ジオサイトの保全・活用 ●糸魚川駅周辺における糸魚川らしいまちなみの維持・再生 ●木造建築物密集地域における防火・防災対策の推進 ●海川や姫川の水害などの自然災害対策の推進 	<p>まちづくりの構想・方針</p>	<p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 →課題を踏まえ、「生活利便性の高いエリアの低未利用地での都市基盤整備」「空き家等の有効活用などの推進」「松本糸魚川連絡道路のルート決定にあわせた（都）港南線、（都）港南明星線の整備」「選択と集中による生活道路の改良・整備」「押上集落での新駅設置」「地区内のバス路線の競合解消」「鉄道とバスの競合区間での役割分担の明確化」を新たに記載。 →課題を踏まえ、現行計画に「（都）中央大通り線、（都）糸魚川駅南線の沿道での適正な土地利用による既存住宅地の居住環境の保全」を追記。 ※現行計画を踏襲：市役所周辺等における良好な居住環境の形成、国道148号沿道と後背地の土地利用との整序化。</p> <p>②都市機能の集積による中心商業・業務拠点の形成 →課題を踏まえ、「糸魚川駅を中心とした都市機能の集積、にぎわいの拠点性の向上」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：本市の玄関にふさわしい中心市街地の景観整備。</p> <p>③本市の発展を支える生産・開発拠点などの形成 →課題を踏まえ、「南押上集落の既存の居住環境の維持・保全の検討、横町及び寺島集落の住居系用途への転換の検討」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：糸魚川インターチェンジ周辺における新たな企業の誘致や用途混在の解消。</p> <p>④人々が交流できる空間の形成 →課題を踏まえ、「美山公園の適切な維持管理の継続」を新たに記載。 →全体構想の見直しを踏まえ、現行計画に「川辺の軸となる姫川や海川沿いの河川空間の保全及び利活用」を追記。 →糸魚川市海の魅力アップ推進計画を踏まえ、現行計画に「糸魚川海岸周辺での観光振興等のための施設整備」を追記。</p> <p>⑤安全に安心して暮らせる地区の形成 →全体構想の見直しを踏まえ、「糸魚川市駅北集落の迅速かつ着実な復興」を新たに記載。 →課題を踏まえ、「木造建築物が密集する地域での防火・防災対策の推進」「姫川や海川の水害対策」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：避難路の沿道における安全性の確保、避難場所における防災機能の充実。</p> <p>⑥誇りを持てる街並みの形成 →課題を踏まえ、「糸魚川海岸ジオサイトの保全・活用」「北国街道と松本街道（塩の道）が交差する糸魚川駅北側のエリアでのかつての風情ある面影を活かした景観づくり」を新たに記載。</p>

主として都市計画に係る課題 … 【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	大野地区		
<p>地区の特性</p>	<p>大野地区は、一級河川姫川右岸の南北方向に広がる地区であり、大野小学校、姫川コミュニティスポーツセンターなどの公共施設が立地しています。</p> <p>また、市民の憩いやレクリエーションの拠点となる美山公園があります。JR姫川駅から一般国道148号に沿っては、中小規模の工場が多く立地しており、JR頸城大野駅の東側や地区の南側には、まとまった集落が点在しています。</p>	<p>まちづくりのテーマ・目標</p>	<p>現行計画：自然と産業が共生した穏やかなまち ⇒ 見直し案：農業、工業などの産業と調和した住みよいまちづくり</p> <p>⇒地域づくりビジョンの内容を参考に産業立地などの地域特性をテーマとして表現を見直し。</p> <p>⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
<p>地区の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 住み慣れた集落地における居住環境の維持と生活拠点の形成 ● 農業と工業、住宅の用途混在の改善 ● 空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ● 少子高齢社会の進行などに対応した地域コミュニティの維持 ● 公共的交通（中学校スクールバス）から路線バスへの転換 ● 鉄道（頸城大野駅、姫川駅）とバス路線（根知線）の競合解消 ● 美山公園の適切な維持管理の継続 ◎ 優良農地と集落風景、緑豊かな山林の保全 ◎ 美山公園・博物館ジオサイトの保全・活用 ● 姫川の洪水などの自然災害対策の推進 	<p>まちづくりの構想・方針</p>	<p>⇒以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 →課題を踏まえ、現行計画に「大野地区公民館や頸城大野駅周辺での生活関連施設の充実による生活利便性の向上、地域コミュニティの維持」を追記。 →課題を踏まえ、「優良農地、工業地などの用途混在地区における居住環境の維持・保全」「空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消」「中学校スクールバスから路線バスへの転換の検討」「鉄道とバスの競合区間での役割分担の明確化」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：地区北側エリアでの中小工場を中心とする工業系土地利用の維持。</p> <p>②人々が交流できる空間の形成 →課題を踏まえ、「美山公園の適切な維持管理の継続」を新たに記載。 →全体構想の見直しを踏まえ、現行計画に「川辺の軸となる姫川沿いの河川空間の保全及び利活用」を追記。 ※現行計画を踏襲：糸魚川温泉における来訪者と地域住民との交流が行える空間づくり。</p> <p>③安全に安心して暮らせる地区の形成 →課題を踏まえ、「姫川の洪水対策」を新たに記載。 →全体構想の見直しを踏まえ、「避難路の沿道における安全性の確保」「避難場所における防災機能の充実」を新たに記載。</p> <p>④誇りを持てる集落の形成 →課題を踏まえ、「美山公園・博物館ジオサイトの保全・活用」を新たに記載。 →全体構想の見直しを踏まえ、「松本街道（塩の道）沿いの歴史・文化的遺構の保全」を新たに記載。</p>

主として都市計画に係る課題 … 【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	今井地区		
地区の特性	<p>今井地区は、一級河川姫川左岸の南北方向に広がる地区です。 地区南端に所在する集落と優良農地を中心とし、今井地区公民館などの公共施設が立地しています。</p> <p>また、かつて信州（松本）まで、塩や海産物など生活物資を運んだ松本街道（塩の道）には、今井地区を経由する西回りがあり、「西回り塩の道交流会」などが開催されています。</p>	まちづくりのテーマ・目標	<p>現行計画：人と人を結び育むオアシスのまち ⇒ 見直し案：姫川などの自然・観光地を活かしたまちづくり</p> <p>⇒地域づくりビジョンの内容を参考に姫川など自然環境の地域特性をテーマとして表現を見直し。 ⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
地区の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 住み慣れた集落地における居住環境の維持と生活拠点の形成 ● 空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ● 少子高齢社会の進行などに対応した地域コミュニティの維持 ● 地域高規格道路松本系魚川連絡道路及び関連する道路の整備 ● 姫川左岸（4流域2ルートの一区間）の道路整備 ● バスネットワーク運行空白地域の解消 ◎ 優良農地と集落風景、緑豊かな山林の保全 ◎ 今井ジオサイトの保全・活用 ● 姫川の水害などの自然災害対策の推進 	まちづくりの構想・方針	<p>⇒以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 →課題を踏まえ、「今井地区公民館周辺での生活関連施設の充実による生活利便性の向上、地域コミュニティの維持」「空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消」「松本糸魚川連絡道路及び関連する道路の整備、姫川左岸の道路の整備」「バスネットワーク運行空白地域の解消」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：地区南部の集落における優良農地と調和した集落の保全。</p> <p>②人々が交流できる空間の形成 →全体構想の見直しを踏まえ、現行計画に「川辺の軸となる姫川沿いの河川空間の保全及び利活用」を追記。</p> <p>③安全に安心して暮らせる地区の形成 →課題を踏まえ、「姫川の水害対策」を新たに記載。 →全体構想の見直しを踏まえ、「避難路の沿道における安全性の確保」「避難場所における防災機能の充実」を新たに記載。</p> <p>④誇りを持てる集落の形成 →課題を踏まえ、「今井ジオサイトの保全・活用」を新たに記載。</p>

主として都市計画に係る課題 …【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
 ※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
 ※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	田沢地区		
<p>地区の特性</p> <p>田沢地区は、緑豊かな黒姫山を背景に雄大な日本海を望む地区であり、地区西側を田海川が流れています。 高畑集落には本地区の歴史とともに歩んできた大規模化学工場や多くの関連企業が立地しており、山麓と日本海に挟まれた平地では、土地区画整理事業などの市街地整備が進められています。 また、田沢小学校、田沢体育館などの公共公益施設のほか、ごみ焼却場及び汚物処理場が立地しています。 また、青海海岸の良好な環境・景観が見られます。 須沢集落にあっては、人口減少は比較的緩やかであり、北陸新幹線の高架下を利用した商店街が整備され、新たな商業拠点の形成が期待されています。</p>	<p>まちづくりのテーマ・目標</p>		<p>現行計画：産業の息吹を感じる活気あるまち ⇒ 見直し案：青海地域の賑わいの拠点となるまちづくり</p> <p>⇒ 地域づくりビジョンの内容を参考に今後の青海地域の中心としてのテーマに表現を見直し。 ⇒ 全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
<p>地区の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 青海地域の拠点として市民生活に必要な都市機能の維持 ● 定住・移住を促す良好な居住環境の形成 ● 須沢集落の工業系用途地域における居住環境の維持・保全 ● 大規模化学工場等に近接する集落における安全性の確保と環境保全対策 ● 須沢集落における北陸新幹線の高架下の有効活用 ● 空き家等の活用など、居住誘導に向けた取り組みの推進 ● 空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ● 人口減少や少子高齢社会の進行に対応した地域コミュニティの維持 ● 姫川左岸（4流域2ルートの一 구간）の道路整備 ● 地区内3路線（能生青海線、おうみ巡回線、青海通り線）の競合解消 ◎ 優良農地と集落風景、緑豊かな山林の保全 ◎ 青海海岸ジオサイトの保全・活用 ◎ 海岸の良好な環境・景観づくり ● 姫川・田海川の洪水などの自然災害対策の推進 	<p>まちづくりの構想・方針</p>		<p>⇒ 地区分離に伴い、田沢地区に関連する内容を移行。 ⇒ その他、以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 → 課題を踏まえ、「空き家等の有効活用などの推進」「姫川左岸の道路の整備」「地区内のバス路線の競合解消」を新たに記載。 → 全体構想の見直しを踏まえ、「松本糸魚川連絡道路のルート決定にあわせた（都）八久保中臨線の見直し及び整備、（都）福来口線や（都）八久保線の見直し検討」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：比較的密集しているエリアにおける居住環境の改善、須沢集落北部エリアの良好な居住環境の維持、山間部の集落と緑豊かな自然環境との共生の維持。</p> <p>②生活利便性の高い生活拠点（市街地）の形成 → 全体構想の見直し及び課題を踏まえ、「商業地での生活商業拠点の位置づけ」を新たに記載。 → 課題を踏まえ、現行計画に「須沢集落での北陸新幹線の高架下施設を拠点とする商業系土地利用の充実」を追記。</p> <p>③本市の発展を支える生産・開発拠点の形成 → 課題を踏まえ、現行計画に「須沢集落の工業系用途地域における既存の居住環境の維持・保全の検討」を追記。 → 全体構想の見直しを踏まえ、「田海集落西部での他の利用検討を含む工業系土地利用の充実」「須沢集落北部での新たなごみ処理施設を建設」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：産業廃棄物最終処理場の操業環境の維持と周辺環境への配慮。</p> <p>④人々が交流できる空間の形成 → 全体構想の見直しを踏まえ、現行計画に「川辺の軸となる田海川沿いの河川空間の保全及び利活用」を追記。 → 糸魚川市海の魅力アップ推進計画を踏まえ、「青海シーサイドパークなどでの観光振興等のための施設整備」を新たに記載。</p> <p>⑤安全に安心して暮らせる地区の形成 → 課題を踏まえ、「姫川、田海川の洪水対策」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：避難路の沿道における安全性の確保、避難場所における防災機能の充実。</p> <p>⑥誇りを持てる街並みの形成 → 課題を踏まえ、「青海海岸ジオサイトの保全・活用」「海辺の軸となる日本海等自然景観の保全」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：誇りある昔ながらの街並みの保全。</p>

主として都市計画に係る課題 … 【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。

地区区分名	青海地区		
<p>地区の特性</p> <p>青海地区は、緑豊かな黒姫山を背景に雄大な日本海を望む地区であり、市街地西端に青海川が流れています。 大沢集落には本地区の歴史とともに歩んできた大規模化学工場や多くの関連企業が立地しており、古くからの市街地が山麓と日本海に挟まれた平地に広がっています。 青海事務所、青海小学校、青海中学校、青海総合文化会館（きらら青海）、青海生涯学習センターなどの多くの公共施設が立地するとともに、日本海ひすいライン青海駅が位置しています。 また、市民の憩いやレクリエーションの拠点となる名引山公園があるとともに、青海海岸の良好な環境・景観が見られます。 青海駅周辺は、かつては大規模工場への通勤者でにぎわい、商業施設が多く立地していましたが、マイカーの普及により人通りが激減し、かつての賑わいは見られなくなっています。</p>	<p>まちづくりのテーマ・目標</p>		<p>現行計画：産業の息吹を感じる活気あるまち ⇒ 見直し案：青海の文化・産業を活かした住みよいまちづくり</p> <p>⇒地域づくりビジョンの内容を参考に産業拠点という地域の特性、かつての青海の中心であった背景をテーマに表現を見直し。 ⇒全体構想の見直しを踏まえ、目標の表現を修正。</p>
<p>地区の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住み慣れた集落地における居住環境の維持と生活拠点の形成 ● 大規模化学工場等に近接する集落における安全性の確保と環境保全対策 ● 空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消 ● 人口減少や少子高齢社会の進行に対応した地域コミュニティの維持 ● 地区内3路線（能生青海線、おうみ巡回線、青海通り線）の競合解消 ● 鉄道（青海駅）とバス路線（能生青海線・おうみ巡回線・青海通り線）の競合解消 ● 名引山公園の適切な維持管理 ◎ 緑豊かな山林の保全 ◎ 青海海岸ジオサイトの保全・活用 ◎ 海岸の良好な環境・景観づくり ● 木造建築物が密集する地域における防火防災対策の推進 ● 青海川・田海川の水害や土砂災害などの自然災害対策の推進 	<p>まちづくりの構想・方針</p>		<p>⇒地区分離に伴い、青海地区に関連する内容を移行。 ⇒その他、以下の通り主な見直しのポイントを記載。</p> <p>①誰もが住み続けることができる居住環境の形成 →課題を踏まえ、「青海生涯学習センター周辺での生活関連施設の充実による生活利便性の向上、地域コミュニティの維持」「空き家等の適切な維持管理及び危険を伴う空き家等の解消」「地区内のバス路線の競合解消」「鉄道とバスの競合区間での役割分担の明確化」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：比較的密集しているエリアにおける居住環境の改善、山間部の集落と緑豊かな自然環境との共生の維持、本町及び周辺での誰もが日常的に訪れやすい空間形成。</p> <p>②本市の発展を支える生産・開発拠点の形成 ※現行計画を踏襲：青海地区の工業系土地利用における工業機能の維持・増進。</p> <p>③人々が交流できる空間の形成 →課題を踏まえ、「名引山公園の適切な維持管理」を新たに記載。 →全体構想の見直しを踏まえ、現行計画に「川辺の軸となる田海川や青海川沿いの河川空間の保全及び利活用」を追記。</p> <p>④安全に安心して暮らせる地区の形成 →課題を踏まえ、「木造建築物が密集する地域での防火・防災対策の推進」「田海川、青海川の水害対策や土砂災害対策」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：避難路の沿道における安全性の確保、避難場所における防災機能の充実。</p> <p>⑤誇りを持てる街並みの形成 →課題を踏まえ、「青海海岸ジオサイトの保全・活用」「海辺の軸となる日本海等自然景観の保全」を新たに記載。 ※現行計画を踏襲：青海駅周辺やラベンダービーチ入り口付近等エリアでの美しい街並みの創出、誇りある昔ながらの街並みの保全。</p>

主として都市計画に係る課題 … 【課題種別】 ●：土地利用、●：都市施設整備（道路・交通体系、公園緑地）、●：自然環境保全・都市環境形成、●：都市景観形成、●：都市防災
 ※上記と同色の“◎”は、地区の特徴を活かしていく課題（産業や観光などの都市計画以外に係る要素を含む）
 ※まちづくりテーマ、目標、構想、方針のゴシック体表記は主な改正ポイントを表している。